

高校生の第2外国語としてのフランス語 高校生が学習してみて感じること—2回目のアンケート結果から—

島田 幸子

1. はじめに

このアンケートは、2010年12月22日筑波大学外国語センター主催公開シンポジウム「今大学に求められている外国語教育とは何か？—中等教育における多様な外国語教育の取り組みから見えてくるもの—」というテーマで開催された際の報告書¹の中で、当時アンケートを実施し報告したものの続きであり、今回が2回目となる。筆者は1999年から大妻中野中学校・高等学校²に勤務している。高校生にとって、英語以外の英語とは異なる外国語・文化を知ることは、生徒自身の視野を広げ、その後の人間的な成長にとっても大変重要であると考えている。そこで、勤務校において、第2外国語としてフランス語を履修している高校生の学習理由を究明したいと考え、前回同様アンケートによる意識調査を実施するにいたった。

2. 勤務校の状況(大妻中野高等学校)

本校のフランス語の授業は、通常の授業終了後の7・8時間目及び土曜日の放課後5・6時間目に開設され実施している。教員は日本人の非常勤講師1名である。学習目標としては、高校3年間で実用フランス語技能検定試験(通称仏検)3級程度とし、高校1年次で仏検5級、2年次で4級、3年次で3級合格を目指す。授業では、日本で作成されている教材 *Café Français*(朝日出版)をメインに使用し、学校行事である定期試験(年5回)以外に、文化祭では3学年合同で授業時に取り入れた歌やフランス語クイズ等を発表させている。その他、仏検や秋に開催されている東

¹ 「今大学に求められている外国語教育とは何か？—中等教育における多様な外国語教育の取り組みから見えてくるもの— 報告集」(2012年筑波大学外国語センター)にて、当時のアンケート結果は報告済みである。

² 大妻中野中学校・高等学校は東京都にある私立の女子校である。本校では、高等学校の1年生からフランス語Ⅰ・フランス語Ⅱを選択科目として選択できるようになっている。それぞれ週に1回50分が2コマである。2009年からコリブリでのフランス人との交換留学をスタートさせ、2013年度現在で5回の交換留学を実施し、計17名の生徒が渡仏している。

日本高校フランス語スケッチ大会(アンスティチュ・フランセ東京、日本フランス語教育学会主催)や単語コンクールに参加し、時間は少ないながらも他校の生徒との交流もさせている。また、2009年から本校は日仏高等学校ネットワーク³(通称コリブリ)に加盟した。毎年数名のフランス人留学生を受け入れ、本校の生徒同数名もフランスへ留学させている。この活動では、留学生徒はもちろんのこと留学していない生徒においても、フランス語のクラス及びホームクラスで、フランス人留学生と共に3週間を過ごすことが出来る。しかも、フランス人ネイティブ教員がいない本校においては、同年代のフランス人やフランス文化に直接触れられる貴重な経験ともなっている。

3. アンケートについて

本校を卒業した多くの生徒が大学へ進学後もフランス語を履修し、さらには社会人となってもフランス語を続けている者が多い。また、高校当時のフランス語選択者同士で集まったり、フランスへ旅行を計画していたりしているとの話も聞いている。もちろん、フランス語・文化等を専門的に学べる学部へ進学し、フランスへの留学も経験した卒業生もいる。これらの生徒たちにとって、高校時代になんとなく学び始めたフランス語が、卒業後にまでこのような形で影響するとは思ってなかったはずである。現在の高校生は学校行事に追われ、大学受験や部活動など時間的にとても厳しい。そういった中で、なぜ第2外国語としてフランス語を学習しようとしたのか、また、内向的と言われている現在の高校生たちが、英語以外の外国語を学ぶことについてどのように思っているのか、現状を知る手段として、再度アンケートを実施することにした。アンケートの質問項目は10問である。それぞれの質問に対して回答が記述式のため複数回答もある。対象生徒は、2013年度のフランス語Ⅰ(高校1年生・高校2年生)・フランス語Ⅱ(高校2年生)の選択生徒で、高校1年生29名、2年生15名、計44名である⁴。

1. フランス語をなぜ学ぼうと思ったのですか？きっかけはどのようなことですか？

・英語に興味があって、他の言語も学んでみたいと思ったから。(14名)

³ 日仏高等学校ネットワーク(通称コリブリ)の加盟校は、2012年度現在で日本側42校、フランス側40校である。

⁴ 紙面の都合上、回答した表現を一部省略している。

- ・フランス(文化)について以前から興味があったから。(10名)
- ・学校で高校生になると授業があると知っていたから。(9名)
- ・知人・家族が以前からやっていて、自分も学びたいと思っていたから。(8名)
- ・第2外国語として少しでも早く始めた方がいいと思ったから。(6名)
- ・なんとなく格好いいと思ったから。(6名)
- ・純粹に楽しそうだったから。(4名)
- ・家族・知人に勧められたから。(2名)
- ・アメリカで少しやっていたので続けようと思ったから。(2名)
- ・将来、フランス語を使う仕事に就きたいと考えていて、必要だと思ったから。(2名)
- ・学校に来るフランス人(留学生)と話してみたいと思ったから。(2名)
- ・部活の先輩がフランス語を学んでいて憧れていたから。(2名)
- ・高校時代に何か新しいことにチャレンジしたかったから。
- ・英語ができない分、外国語の点をあげたかったから。
- ・パリにあるエッフェル塔が大好きで興味を持っていたから。
- ・学校で習える外国語が英語以外にフランス語しかなかったから。
- ・世界でフランス語を使っている人が多いので、将来その人たちとコミュニケーションが取れると思ったから。
- ・筆記体に憧れていたから。
- ・将来フランスへ行った時にフランス語で交流を持てたらいいなと思っていたから。
- ・サッカーのヨーロッパリーグが好きでヨーロッパに興味を持っていたから。
- ・怪我で部活が出来なくなり、時間が取れるようになったから。
- ・中国語を話せるので、英語に加えて色々な言語を話せるようになりたかったから。
- ・実際にフランスへ行って自分でお菓子を買って食べてみたいと思ったから。
- ・仏検が取れば将来に役立つと思ったから。
- ・飼っている猫がフランス生まれだったので、興味があったから。
- ・「ベルサイユのばら」を読んで、フランス語版で読めるようになりたかったから。
- ・美大に行きたいと中学時代から考えていて、ルーブル美術館にも興味があったから。

2. 実際にフランス語を学んでみて、何か感じたことはありますか？特に興味を持ったこと、あるいは大変に思ったことはありますか？

- ・名詞に性別があったり、動詞の活用など覚えることが多く難しかった。(24名)

- ・つづりや発音が英語と同じような感じだと思っていたが、全く違っていた。(19名)
- ・よりフランスや文化に興味を持った。(10名)
- ・色々覚えたりするのは大変だけれど、新しい世界を知ることが出来て楽しい。(7名)
- ・英語よりも文法がわかりやすくていいと思った。(7名)
- ・英語と混ざって難しい。(6名)
- ・筆記体が難しい。(4名)
- ・文法は難しいけれど話すのは楽しい。(3名)
- ・発音の響きがきれいだと感じた。(3名)
- ・Rの発音がとても難しい。(3名)
- ・日本とフランスの文化の違いをより感じた。(3名)
- ・英語と比べてつづりが暗記しにくく、テストが大変だった。(2名)
- ・中学時代に英語を学び始めた時にもこんなに大変だったかと懐かしく感じた。
- ・フランスの食文化により興味を持った。
- ・学んだことを生かしてフランスに行ってみたくなった。
- ・フランス人留学生と会ってからより楽しく感じた。
- ・国歌や有名な歌が歌えるようになり、テレビなどで耳にすると嬉しくなる。
- ・英語のようにもっと簡単にフランス語がマスターできると思っていたが、そんなことはなかった。

3. 次年度もフランス語を続けていこう(あるいはやめよう)と思ったことにはどのような理由がありますか？

- ・続けようと思う。(31名:1年生22名、2年生9名)
- ・中途半端で辞めたくないから。ここまで頑張ったのにもったいないから。(14名)
- ・もっとフランス人と話せるようになりたいから。(12名)
- ・楽しいから。(7名)
- ・大学でも続けようと思っているから。(7名)
- ・仏検を取りたいから。(3名)
- ・受験があるのでやめる(13名:1年生7名、2年生6名)

4. 大学ではフランス語を続けたいと思っていますか？もしその場合、どのようなレベルのフランス語を学習したいと思っていますか？目標とするレベルはありますか？

- ・大学でも言語や文化などいろいろなことを学習したい。(29名)
- ・軽く話せるようになりたい。(10名)
- ・旅行で通じるレベルになりたい。(8名)
- ・フランスに住めるくらいまでのレベルになりたい。(7名)
- ・仏検 3・準 2・2・1 級くらいまで取りたい。(6名)
- ・フランス語も含めて色々な言語を学びたい。(3名)
- ・仕事で使えるくらいになりたい。(3名)
- ・映画や本がフランス語で見れるようになりたい。(2名)
- ・わからない。(6名)

5. 将来フランス語を使ってみたいと思っていますか？ それはどのような分野ですか？

- ・使ってみたい。(25名)
- ・旅行で使ってみたい。(16名)
- ・フランス人の友達を作ってみたい。(9名)
- ・仕事で使ってみたい。(8名)
- ・フランスに住んでみたい。(4名)
- ・日本や日本文化について日本に来たフランス人を案内してみたい。(3名)
- ・論文を訳してみたい。
- ・わからない。(6名)

6. 大学ではどのようなことを専門的に研究したいですか？(希望の進路)また、英語やフランス語以外で他に学んでみたい外国語はありますか？

希望の学部について

- ・法学(5名)
国家公務員や外交官になりたい。
- ・英語、英語圏文化(4名)
世界で仕事がしたい。
海外で活躍したい。
正しい発音を身につけたい。

英語が大好きだから。

・国際関係学(4名)

異文化を学びたい。

外交について学びたい。

文化の違いや考え方の違いを学びたい。

・経済学(3名)

・経営学(3名)

マネージメントに興味がある。

・社会学(3名)

・理工学部(3名)

氷や水などを研究したい。

・医療関係(2名)

・政治学(2名)

・言語(2名)

・フランス語、フランス文化(2名)

フランスの社会制度や女性のあり方を学んで、日本にどう取り入れるべきか考えたい。

言語だけでなく、文化や歴史についても学びたい。

・芸術(2名)

・人文学

・音声学

・史学

・宗教学

・理系

・数学

・物理学

・海洋学

・生物学

・メディア関係

・音楽

・被服学

雑誌の編集やファッションの勉強がしたい。

・製菓関係

- ・栄養学
- ・未定。(4名)

学んでみたい外国語について

- ・ドイツ語(11名)

格好いいから。発音がきれいだから。
フランス語と近いものがありそうだから。
サッカー選手の移籍先で多く、ドイツで働きたいから。
医学では多く使われているから。
興味があるから。
ドイツに行きたいから。
音楽用語に多いから。
進学希望先の大学でドイツ語が必要だと知ったから。

- ・韓国語(7名)

隣国だから。
ハングルが読めるようになりたいから。
趣味で勉強を始めているので、もう少し本格的にしたいから。
ドラマの影響で母と学び始めているから。

- ・中国語(6名)

隣国だから。
世界で話す人口が多いから。
少し話せるのでもっと深く知りたいから。

- ・スペイン語(4名)

世界で話す人口が多いから。格好いいから。

- ・イタリア語(4名)

以前から興味があるから。
文化や歌が好きだから。
「リボーン」というアニメの影響から。
「アマルフィ」という映画を見て景色がとても素敵で行ってみたいと持ったから。
発音が日本語と似ているような気がしたから。

- ・アラビア語(3名)

イスラエルで使われている言葉を学びたいから。コーランを読んでみたいから。

戦争が起こっている地域に実際行って現状を知り、現地へ行って人を助けたいから。イスラム社会で起きている問題への糸口を探してみたいから。

文字がきれいで右から読んでいくのが面白そうだから。

・ポルトガル語

・東南アジアの言語

アジアに住む人間として言葉も知りたいから。興味があるから。

・ヨーロッパ系の言語

・チェコ語

チェコ人の色彩感覚が好きなのと、平面的なアニメーションも日本人の感覚に合っていると思うから。

7. フランス語を学習し始めて、以前と比べて異なるイメージを抱きましたか？

・発音(特に R の音)がおもしろかった。(3 名)

・日常生活にフランス語が多くあることに気がついた。(3 名)

・思っていたよりもブランド品は身につけずカジュアルなスタイルだった。(3 名)

・思っていたよりも食べ物がおもしろそうだった。(2 名)

・もっと難しいかと思っていたが、わかりやすい所もたくさんあった。(2 名)

・多民族国家だと知った。(2 名)

・発音だけが難しいと思っていたが、文法も難しかった。(2 名)

・以前より親近感を持った。(2 名)

・思っていた以上にフランス人が自国・母語を大切に思っていたことを知った。(2 名)

・思っていた以上に発音が難しかった。

・おしゃれなイメージだけでなく、色々な問題を抱えていることを知った。

・伝統的な国でありながら、他国の文化も取り入れ、先進的だと思った。

・文法などもっと難しいかと思っていたが、意外と英語と混ざることなく堅かったイメージが崩れた。

・フランス人留学生と接してみて、思っていたよりもフレンドリーだった。

・食文化のイメージが思っていたものと違った。

・特に変化なし。おしゃれ。上品なイメージ。(21 名)

8. 高校からフランス語を始めたことはあなたにとって何か影響はありましたか？

- ・新しい言語を学ぶことはおもしろくて、より興味を持つことができた。(8名)
- ・英語とは違う文化があることを知り、視野が広がった。(7名)
- ・フランス語を知らない人に、自慢出来てうれしかった。(7名)
- ・他の言語・文化にも興味を持ち、学んでみたくなった。(5名)
- ・授業が土曜日の午後や平日の放課後で、勉強や部活とのやりくりができるようになった。(5名)
- ・フランス人留学生と少し話せるようになりうれしかった。(5名)
- ・日常や街中でフランス語をみかけるとうれしくなった。(5名)
- ・フランス人が話している言葉が一部聞き取れたりして、より身近に感じた。(4名)
- ・新しい言語を学ぶのはとても大変だということを再認識できた。(3名)
- ・将来のことについて考えるようになった。(3名)
- ・もっと前から始めたかった。(2名)
- ・フランスに行きたくなった。(2名)
- ・留学生だけでなく他校の生徒と会う機会もあり、刺激を受けた。
- ・英語を学んでおいてよかった。

9. フランス語を始める際に目標としたレベルはどのくらいですか？その目標に到達できましたか？

- ・基礎、初級のレベル。仏検 3 級レベル。簡単な会話ができるレベル(24名)
- ・フランス人とスラスラ会話ができるレベル。日常会話レベル(17名)
- ・海外で仕事にフランス語が使えるくらい。仏検 1 級レベル。(3名)
- ・映画をフランス語で見れるレベル。
- ・文章が読めることと、正しい発音を覚えること。
- ・目標にまあまあ達成出来たと思う。(10名)
- ・目標には努力が少し足りなかったと思う。(16名)
- ・目標に全然到達できていない。(18名)

10. 今後フランスへ留学したいと考えていますか？どのようなことを学んでみたいですか？

・留学してみたい(27名)

- 1・2ヶ月くらいでフランス人と色々話してみたい。
- 半年くらいで語学だけでなく文化を学びたい。
- 2・3週間で日本とどのくらい異なるのかを体感してみたい。
- 1年以上行きたい。
- 名所をいろいろ周りたい。
- 大学生時代に2週間くらいで語学や生活を学びたい。
- パリへ行きたい。
- 料理やメディアのことも学びたい。
- 製菓の技術を学びたい。
- 1・2年で文化を身近に感じたい。
- 半年から1年くらいで歴史なども学びたい。
- いろいろな建築物を見て周りたい。ファッションを学びたい。
- 大学1年生の夏休みに2ヶ月半、その後ヨーロッパの大学か大学院へ短期で行きたい。社会制度について学びたい。
- 1・2年、パリの美術館に通ってデッサンをずっとしてみたい。

・留学しない(15名)

- 海外ではなく日本でゆっくり学びたい。ドイツへ留学したい。
- 他の国へ留学したい。海外で生きる自信がまだない。
- 家庭の事情から難しい。フランス語がまだできないから。
- 旅行で行くだけで十分だと思うから。
- 英語圏の留学を希望しているから。父親が反対するから。
- 英語が出来るようになってから行きたいから。
- 経済的な理由と硬水で身体に合わないから。

・未定(2名)

4. おわりに

今回のアンケートでも前回同様、フランス語を学習している高校生の本音を知ることが出来、高校時代に英語以外にも第2外国語を学ぶことの重要性を再確認できた。全体的にみても、英語以外の新しい外国語・文化にも興味を持ち、生徒自身が視野の広がりを感じ、素直に学習を楽しんでいるようである。ただ、高校時代の第2外国語としてフランス語を学習するにあたり、教養として初歩的なレベルのフランス語を学ぶだけで満足している生徒がいる一方、フランス語をしっかりと学び仏検取得や留学・就職など、将来へ生かしてみたいと思っている生徒もいた。その上で外せない発音や文法事項については、すでに中学生から学習済みの英語よりもフランス

語の方が規則や例外も多く、難しいと感じる生徒が予想通りとても多かった。初歩の段階では躓きやすいそういった部分を、それでもマスターしてみたいというモチベーションへいかに変えることが出来るのかが、継続して学習する上で重要になってくるだろう。

また、高校生の学習してみたい言語は、国連の公用 6 言語(英語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語・アラビア語) + ドイツ語だけでなく、韓国や東南アジア、ポルトガル語、チェコ語、ヨーロッパ系の言語などとなっており、多様な言語に興味がある生徒がいたことは意外であり、内向的な傾向が強いと言われる世代の意見としてはうれしい驚きでもあった。世界には英語圏以外の文化があるということ、つまり、英語だけではお互いに理解することのできない文化圏も存在するということを、若いうちに知っておくことはとても重要であると考え。さらに、「テレビや街中でフランス語を見つけるとうれしかった」、「意味を周りの人に教えてあげられことで、より興味を感じた」という生徒もいたように、外国語を学ぶことは大変だったが、やってきてよかったという達成感を感じることも、外国語を学習する上でモチベーションを維持するためには大切だろう。

このような今時の生徒たちのモチベーションをつぶすことのないよう、多角的な外国語教育を今後大学側へ期待したい。というのも、数年前のある大学では「第 2 外国語としての目標レベルは各外国語の技能検定試験 3 級であり、既に持っているのならそれ以上教えられるクラスはないため、他の外国語を学ぶよう提案があった」と聞き大変驚いた。確かに語学を専門とする学科に進学した生徒の話ではない。だが、複数の外国語を活かせる場所は本来大学のはずである。大学が様々な外国語を武器に専門分野で世界へ羽ばたかせ、そして日本のために世界と関える学生を育成させるべき場所であってほしい。そういった意味でもしっかりと高大で連携し、高校時代にも充実したカリキュラムを準備し、生徒の能力を大いに伸ばすべく、高校側の人間として今後も生徒を一人一人サポートしていきたい。

(大妻中野中学校・高等学校非常勤講師)

参考文献

臼山利信監修(2012)『今大学に求められている外国語教育とは何か？－中等教育における多様な外国語教育の取り組みから見えてくるもの－報告集』筑波大学外国語センター。

French as a Second Foreign Language for High School Students

Sachiko SHIMADA

It is very important for high school students to study a second foreign language in addition to English. In order to realize this, students studying at French Otsuma Nakano High School participated in a survey, where they were asked to explain the reasons for wanting to learn French. This paper reports on the results of that survey.